

平成 26 年度予防接種事業 問合せ 健康福祉課健康推進グループ ☎ 2425

対象 疾病	ワクチン 対象疾病	接種時期 (望ましい時期)	内容・間隔
結核	BCGワクチン	生後 12 か月の前日まで (生後 5 か月～満 8 か月)	9 本針が植えつけられている管針で 1 回接種 次の予防接種まで 27 日以上あける
百日せき・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ混合ワクチン(採りオ)	沈降精製百日せき・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ混合ワクチン(DPT-IPV)	1 期初回: 生後 3 か月～12 か月 1 期追加: 生後 90 か月までで、 初回終了後 12～18 か月	1 期初回: 20～56 日間隔で 3 回接種 1 期追加: 1 回接種 次の予防接種まで 6 日以上あける
破傷風	沈降ジフテリア・破傷風混合トキソイド(DT)	11 歳以上 13 歳未満の児 (小学 6 年生)	1 回接種 ※対象者には個別通知します。
麻しん・風しん	乾燥弱毒性麻しん 風しん(MR) 混合ワクチン	1 期: 生後 12 か月～24 か月 2 期: 就学前 1 年間	それぞれ 1 回接種 4 月～6 月までの接種が望ましい 次の予防接種まで 27 日以上あける ※ 2 期対象者には個別通知します。
ザンモウイルスインフルエンザ	ヒブワクチン	生後 2 か月～4 歳までの乳幼児 (生後 2～7 か月までに 1 回目の接種が望ましい)	① 1 歳未満の初回免疫接種: 標準的な接種の間隔は 27～56 日間隔 ② 1 歳の追加免疫接種: 初回免疫接種後 1 年あける
		接種開始時期 ① 生後 2 か月～7 か月未満の児 計 4 回接種 ② 生後 7 か月～12 か月未満の児 計 3 回接種 ③ 12 か月以上の児 1 回接種	※ 次の接種まで 6 日以上あける
肺炎球菌	小児用肺炎球菌ワクチン	生後 24 か月までの乳幼児(生後 2～7 か月までに 1 回目の接種が望ましい)	① 1 歳未満の初回免疫接種: 各回の接種の間隔は 27 日以上あける(初回免疫は 1 歳未満で完了) ② 1 歳の追加免疫接種: 初回免疫接種終了後 60 日以上(標準で生後 12～15 か月)
		接種開始時期 ① 生後 2 か月～7 か月未満の児 計 4 回接種 ② 生後 7 か月～12 か月未満の児 計 3 回接種 ③ 12 か月以上 24 か月未満の児 計 2 回接種 ④ 24 か月以上の児 1 回接種	※ 次の接種まで 6 日以上あける ※ 第 1 回目の接種が生後 7 か月未満で、2 回目の接種が 12 か月を超えた場合は計 3 回接種
子宮頸がん	子宮がん予防ワクチン	13～16 歳(中学 1 年～高校 1 年生)の女性 1 年以内に 3 回の接種を修了することが望ましい ※ 下記のワクチンから選択 ① サーバリックス(2 価) ② ガーダシル(4 価)	① サーバリックス(2 価ワクチン): 子宮頸がんの主な原因とされるヒトパピローマウィルスの 16 型と 18 型の感染を防ぐワクチン (接種時期: 1 回目の接種後 1 か月に 2 回目、2 回目の接種後 5 か月後に 3 回目) ② ガーダシル(4 価ワクチン): ヒトパピローマウィルスの 16 型と 18 型に加え、6 型と 11 型の感染を防ぐ。 ※ 6 型と 11 型は尖圭コンジローマや再発性呼吸器乳頭腫症の原因とされているもの (接種時期: 1 回目の接種後 2 か月に 2 回目、2 回目の接種後 4 か月後に 3 回目)
予防接種実施医療機関	畑山医院 ☎ 2250 毎週火・金曜日(14 時～15 時) ※前日までに予約が必要(上記の時間以外については医院に連絡をしてください。) 追分菊池病院 ☎ 2531 診療時間内(なお、月・水曜日の 15 時以降は優先) ※前日までに予約が必要 早来医院 ☎ 3800 診療時間内 ※子宮がん予防ワクチンのみ実施 ※前日までに予約が必要		※ 予防接種を希望される場合は、必ず前日までに医療機関に予約をしてください。 ※ 日本脳炎の予防接種は、北海道では接種不要となっています。